



2019年3月期 三井製糖 決算説明会

2019年5月21日



三井製糖株式会社 (2109)

はじめに

I. 決算ハイライト

1. 2019年3月期 決算
2. 2019年3月期 財務状況
3. 2020年3月期 事業計画

II. 経営方針と重要施策

1. 成長戦略
2. 成長戦略の実現に向けた施策

(1) 既存事業強化

- ①国内砂糖への投資
- ②不動産事業投資
- ③研究開発の取組

(2) 成長分野の確保

①海外事業

- a) Kaset Phol Sugar (タイ)
- b) SIS'88 Pte Ltd. (シンガポール)
- c) 中糧糖業遼寧有限公司 (中国)
- d) 海外事業の今後の展開

②フードサイエンス事業

3. 持続可能な発展に向けての取組

III. 財務戦略と株主還元

1. 資金配分計画 (今後5年間)
2. 株主還元方針

はじめに（FTYロイヤリティについて）

FTY720について

故・藤多哲朗教授と吉富製薬株式会社（現 田辺三菱製薬株式会社）及び当社(旧台糖)で共同研究した免疫抑制剤。全世界における開発権、販売権をノバルティスに許諾しており、多発性硬化症の治療薬ジレニアとして製品化され、当社は田辺三菱製薬を経由してロイヤリティを受け取っている。

2011年3月期からロイヤリティの利益貢献が始まり、これまでの収入総額は425億円。

これまでの経緯

ロイヤリティ契約には一定の期限がある為、ロイヤリティ収入をテコとし成長分野への投資等収益構造の変革を進めて来ている。しかしノバルティスが2019年2月に当社の共同特許権者である田辺三菱製薬を被申立人とする仲裁を申し立て、契約の一部について有効性に疑義が提起され、当該部分については収益の認識を行わないこととした。

今後の見通し

仲裁の推移を見守るが、2019年度についても同様に収益の認識を行わないこととする会計処理を継続する。
なお、当期収益については仲裁終了後に判断し、適切に処理する。

◆FTYロイヤリティ収入の主な使途

①精糖工場&研究開発 設備投資

精糖工場：結晶缶等の大型更新投資
粒状活性炭等の戦略的投資
耐震補強等の安全対策への投資
研究開発：東レとの国際実証試験

②成長事業投資（海外＋FS）

海外展開、事業拡大に向けた投資
（SIS株式取得、Kaset Phol Sugarへの増資
中糧糖業遼寧有限公司への出資、
ニュートリー子会社化）

③不動産投資

イオン岡山物流倉庫、太陽光発電設備

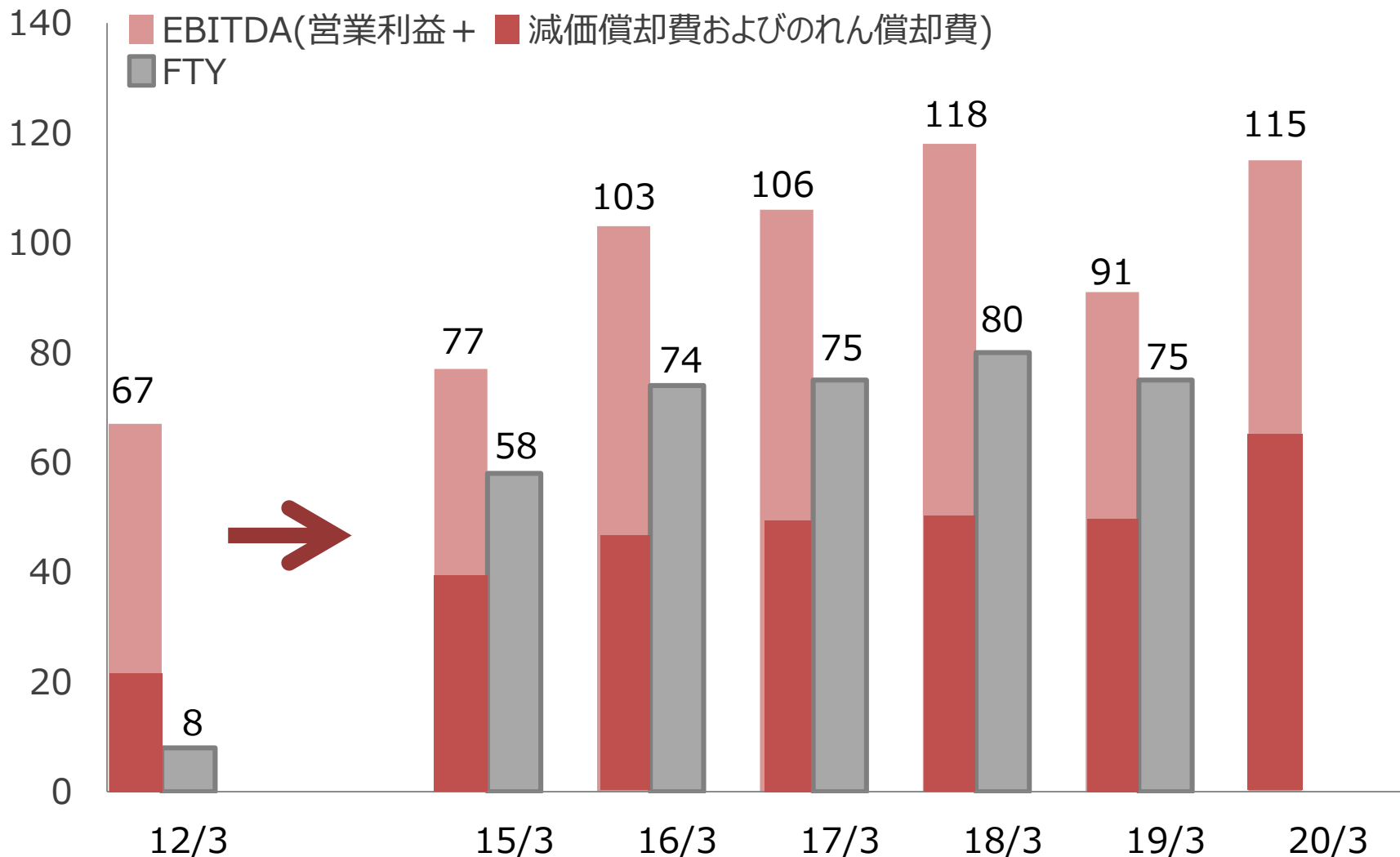
④株主還元強化

配当性向25%→35%（2017年3月期より）

はじめに

利益の推移

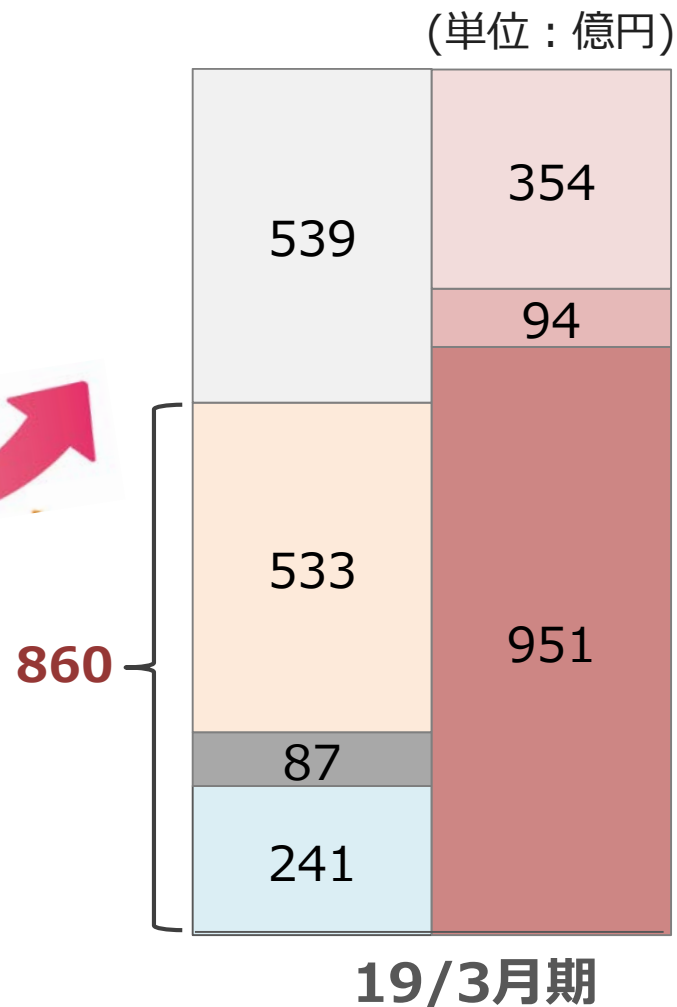
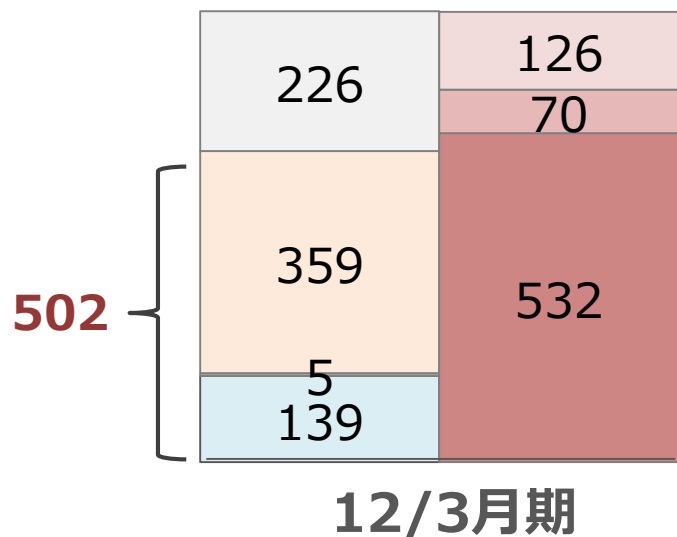
(億円)



はじめに

財務の推移

- 流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産
- 投資その他資産
- 流動負債
- 固定負債
- 純資産



- ◆ 総資産は12/3月期と比較して約2倍に増加
- ◆ 8年間の純利益合計 481億円、配当支払金総額146億円

I. 決算ハイライト

1. 2019年3月期 決算

決算サマリ（前期比）

営業利益：▲27億円（主な内訳：砂糖事業▲21億円、FS事業▲6億円）

【砂糖事業】

- ・粗糖相場下落による販売単価下落
- ・原油相場高騰による製造費用上昇
- ・SIS株式取得先行費用発生
- ・天候不順による子会社の生産量減少等

【FS事業】

- ・子会社への生産集約にかかる一過性の費用発生により営業減益

営業外損益：▲6億円

- ・タイ国関連会社の業績回復
- ・FTYロイヤリティ収入の減少等

	2019年3月期		2018年3月期		増減
	(億円)	売上比	(億円)	売上比	
売上高	1,053		1,053		-
営業利益	37	3.5%	64	6.1%	▲27
経常利益	103	9.8%	136	12.9%	▲33
純利益	69	6.6%	83	7.9%	▲14

2. 2019年3月期 財務状況

キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	2019年3月期	2018年3月期
営業活動によるCF	121	157
投資活動によるCF	▲207	▲51
(フリーキャッシュ・フロー)	(▲86)	(106)
財務活動によるCF	▲11	▲47

(単位：億円)

財務指標

	2019年3月期	2018年3月期
ROE	8.2%	10.5%
自己資本比率	61.1%	62.4%

3. 2020年3月期 事業計画

計画サマリ（今期比）

営業利益：+14億円（主な内訳：砂糖事業+7億円、FS事業+6億円）

【砂糖事業】

- ・SISの通期業績を反映
- ・適切な原料調達による費用改善

【FS事業】

- ・パラチノースの販売量増加
- ・テクノスの生産体制一元化による費用削減

持分法投資損益：+4億円

- ・中糧糖業遼寧有限公司 通期持分法適用
- ・タイ国関連会社の生産量増加。

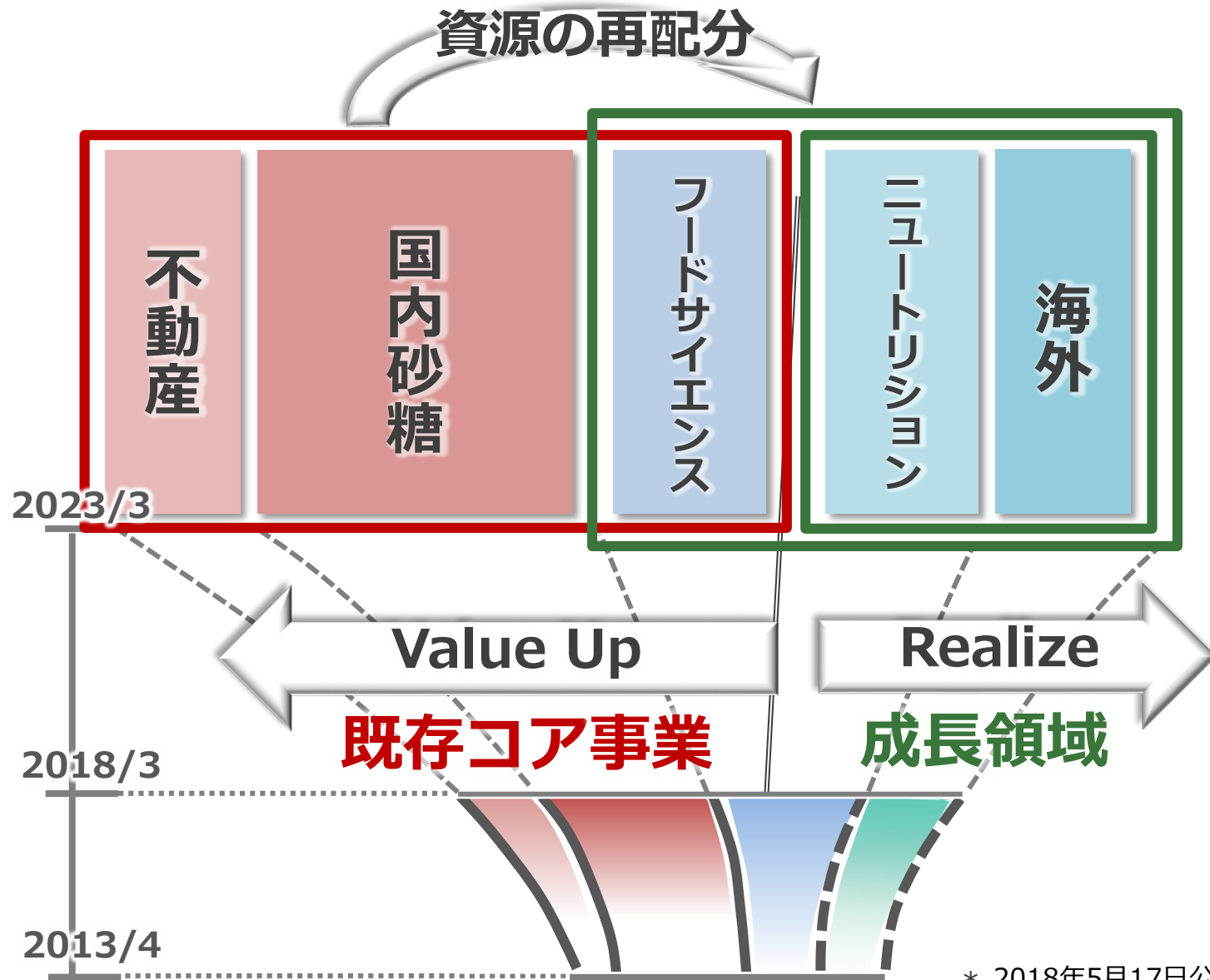
その他営業外損益：▲70億円

FTYロイヤリティ収入の大幅な減少

	2020年3月期		2019年3月期		増減
	(億円)	売上比	(億円)	売上比	
売上高	1,130		1,053		+77
営業利益	51	4.5%	37	3.5%	+14
経常利益	51	4.5%	103	9.8%	▲52
純利益	26	2.3%	69	6.6%	▲43

Ⅱ．経営方針と重要施策

1. 成長戦略



* 2018年5月17日公表時点

2-(1). ①国内砂糖への投資

基盤強化

福岡工場

- **粒状活性炭設備導入**
エネルギー使用量減少 → 製造費用の削減
- **Halal認証の取得**
新規市場を獲得

神戸工場

- **生産効率化への投資**
液糖設備の改善等
- **労働・食品安全への投資**

北海道糖業

- **包装設備の能力増強**
製造・物流費用の削減
- **糖分回収設備の設備更新**

千葉工場

- **小容量小袋製品の包装設備導入**
顧客ニーズの変化に対応
- **設備保全の高度化**
AI・IoTを活用

生和糖業

- **さとうきび処理設備更新**
土砂などの不純物を除く設備を更新

更なる効率化に向けて

- 生産・販売・物流体制の抜本的な再構築により、合理化を推進
- 生産拠点にAI・IoTを導入し、設備保全の高度化・自動化を推進

2-(1). ②不動産事業投資

- ◆ 遊休地のリモデリングや開発により、安定的なキャッシュフロー創出を図る
- ◆ 工場及び関連跡地の開発
岡山工場及び関連跡地の開発、長田工場の跡地開発。
- ◆ 既存物件からの安定的キャッシュの創出



▲イオン岡山物流倉庫×太陽光発電



▲岡山新規物流賃貸物件

2-(1). ③研究開発の取組

ミッション

主な取組み

「強みと独自性の追求」 X 「社会ニーズと市場トレンドの追及」

◆研究開発費/売上高 $\geq 1\%$

糖と素材研究

糖の機能性研究

糖の健康効果に係る実証研究。糖の可能性を拡げ、健康長寿に貢献。

- ◆パラチノースの機能研究（大学と共同研究）
- ◆バガス由来製品の応用研究
- ◆植物乳酸菌

資源の活用

甘味資源の利用

生産拠点のメリットを活かし、砂糖・エタノール以外の甘味資源利用を広げる研究。

- ◆バガスから高付加価値素材製造
- ◆栽培方法・品種選定などによるキビ増産

技術の利用

加工技術の応用

蓄積されたノウハウを生かし、新たな素材加工技術、砂糖製造技術を開発。

- ◆固形化技術を応用した素材加工開発
- ◆精糖清浄工程見直し等

2-(2). ① 海外事業

中糧糖業遼寧有限公司

出資比率：20%

事業概要：中糧集団傘下の砂糖事業会社。生産能力100万トンを有す中国有数の大型精製糖工場を運営。

中東市場

CHINA
成長著しい巨大市場

THAILAND
高品質砂糖の供給拠点

Kaset Phol Sugar

出資比率：28%

事業概要：1994年から当社と三井物産が共同出資しているタイの製糖会社。

SIS'88 Pte Ltd.

出資比率：70%

事業概要：シンガポールや中東地域で精製糖を販売。砂糖取扱数量は約20万トン。子会社のAsian Blendingは加工糖事業を運営。

SINGAPORE
アジア販売ネットワーク

2-(2). a)Kaset Phol Sugar (タイ)



タイの砂糖生産・需要動向

- 世界第2位の砂糖輸出国
近年、砂糖の生産量は増加
- 東南アジア地域の所得増加に伴い、
タイの砂糖需要は伸長
特に高品質精製糖の需要が顕著

生産能力増強と高度化概要

- 伸長する高品質精製糖需要に応えるため、
工場を刷新。**生産能力30万ト/年**の体制を構築中
- バイオマスを使った**売電事業**も計画



2-(2). b)SIS' 88 Pte Ltd.(シンガポール)



● SIS' 88 Pte.
東南アジア市場



販売ネットワークとブランド

- 高い市場占有率
シンガポール・UAEで30-40%
- "LOW GI SUGAR"発売 (5月)
高まる健康意識に応え、
当社と共同開発

* LOW GI(Glycemic Index)とは、
砂糖やブドウ糖を摂取した場合を基準に、
血糖値上昇に及ぼす程度が低いことを示す。



安定成長の加工糖事業

- 他素材と砂糖を混合した高付加価値製品を
製造販売
- アジアを中心とした強固な顧客基盤

2-(2). c)中糧糖業遼寧有限公司（中国）



中糧集団(COFCO Group)の概要

- 中国北京市に本社を置く中央国有企業で、中国最大の食糧会社

生産能力100万トン/年の最新鋭工場

- 生産能力100万トン/年
(参考) 日本の砂糖消費量 189万トン
※引用：農林水産省 2018砂糖年度 砂糖及び異性化糖の需給見通し
- 環境にも配慮した最新鋭設備
- 今後、当社の品質管理ノウハウ導入



2-(2). d)海外事業の今後の展開



CHINA

巨大市場の潜在ニーズを深掘り

- 品質管理体制の高度化**
パートナー企業と更なる合作
- 液糖、加工糖、個包装等



THAILAND

生産拠点を活かした素材開発

- 原料集積機能をフル活用し、
原料の潜在性を引き出す**
- バガスの有効利用
 - 新規健康訴求素材の開発

SINGAPORE

多様なライフスタイルに対応

- 三井グループのネットワーク、
SISの販売機能の融合**
- 新規市場開拓
 - 健康対応型新製品開発
 - ライフスタイル対応型新製品

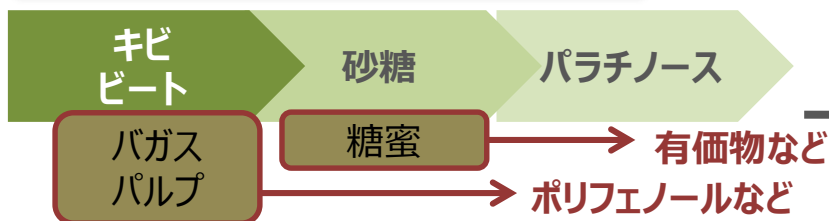


2-(2). ②フードサイエンス事業

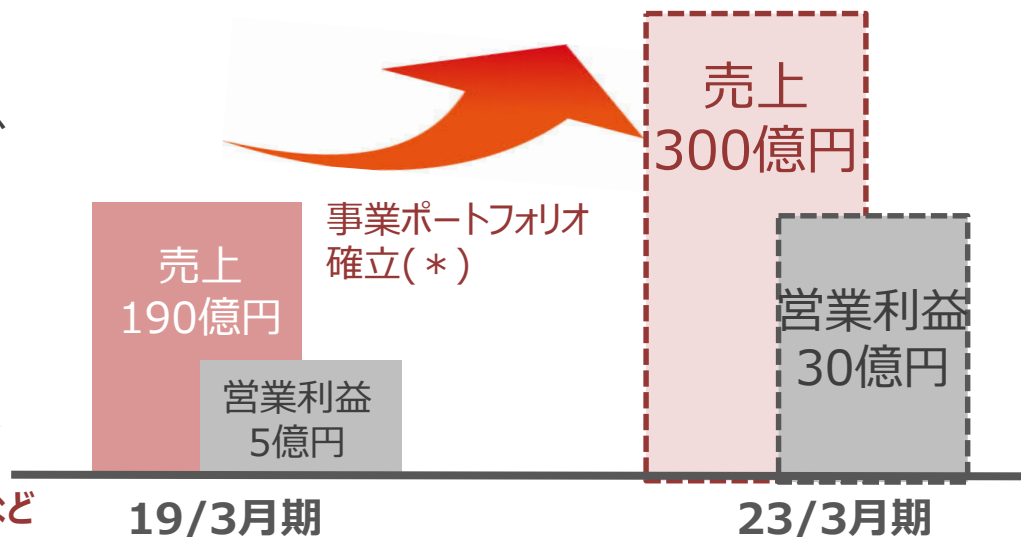
環境認識

- 進む高齢化、高まる心身の健康欲求
- 市場はニーズ多様化。差別化のカギは、
①エビデンス、②美味しさ、③ブランド、
④ストーリー構築力

独自素材の開発



23/3期あり姿(連結)



三井製糖
単体事業

独自の糖質事業展開

- 「健康と美味しさの融合」をテーマに、機能性糖質/甘味料の開発及び販売
- 天然由来の機能素材の開発及びマーケティング

グループ会社

フードテクノロジー事業： ●北海道糖業バイオ事業

●タイショーテクノス（海外展開促進）

Nutrition事業： ●ニュートリー 医・食領域の融合、商材拡充/海外展開

新規素材

新規素材（タンパク、新甘味料など）拡充、三井グループFS事業と協業

2-(2). ②フードサイエンス事業

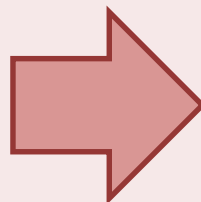
◆スローカロリープロジェクト



スローカロリープロジェクトとは？

「糖質で糖尿病撲滅」を目指し始動。糖質のカロリー値より、消化吸収速度と小腸機能のフル活用が重要であることを**パラチノース**の臨床試験から解明。糖質の「質」を健康キーワードとする普及活動。

パラチノース®



砂糖から生まれた天然の糖
(砂糖の約1/5消化吸収速度)

生理学的機能(*)



代謝向上



持久力向上



内臓脂肪低減



脳機能向上

* 学術論文等試験結果についてはお問い合わせください

◆スポーツ分野へのマーケティング強化

- プロスポーツチームとスポンサー契約
- プロアスリートのパフォーマンス向上実証試験
- アスリート用パラチノース開発。5月販売開始
- 各種プロモーション活動

[オフィシャル・スポンサー契約締結]

ALVARK

TMIVN



JEF UNITED
ICHIHARA CHIBA

[アスリート向けパラチノース]



2-(2). ②フードサイエンス事業（グループ会社）

ニュートリー株式会社 NÜTRI:  株式会社 タイショー テクノス

（多様化する栄養摂取シーンに対応）

【会社概要】

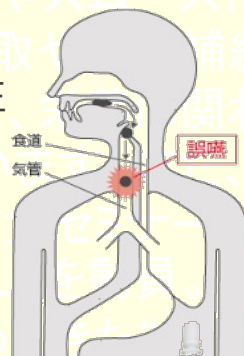
栄養療法食品ならびに嚥下障害対応食品などの開発、製造および販売

●嚥下障害とは？

老化等で口腔内機能の衰えで発生

●商品カテゴリー

- ・嚥下サポート食品
- ・介護・嚥下補助用品
- ・栄養補給食品
- ・半固形状流動食



自販機
でも、
手軽に
とりみ

（多様な食品加工をサポート）

【会社概要】

食品添加物・工業薬品の製造及び販売

●食品色素・香料

- ・食用色素、フレーバー、ゆず果皮

●寒天・ゲル化剤

- ・TSゲル、TS寒天

●機能性食品素材

- ・ビタミン類、アミノ酸
- ・健康食品素材

●食品添加物・食品素材

- ・保存料、日持向上剤
- ・品質改良剤

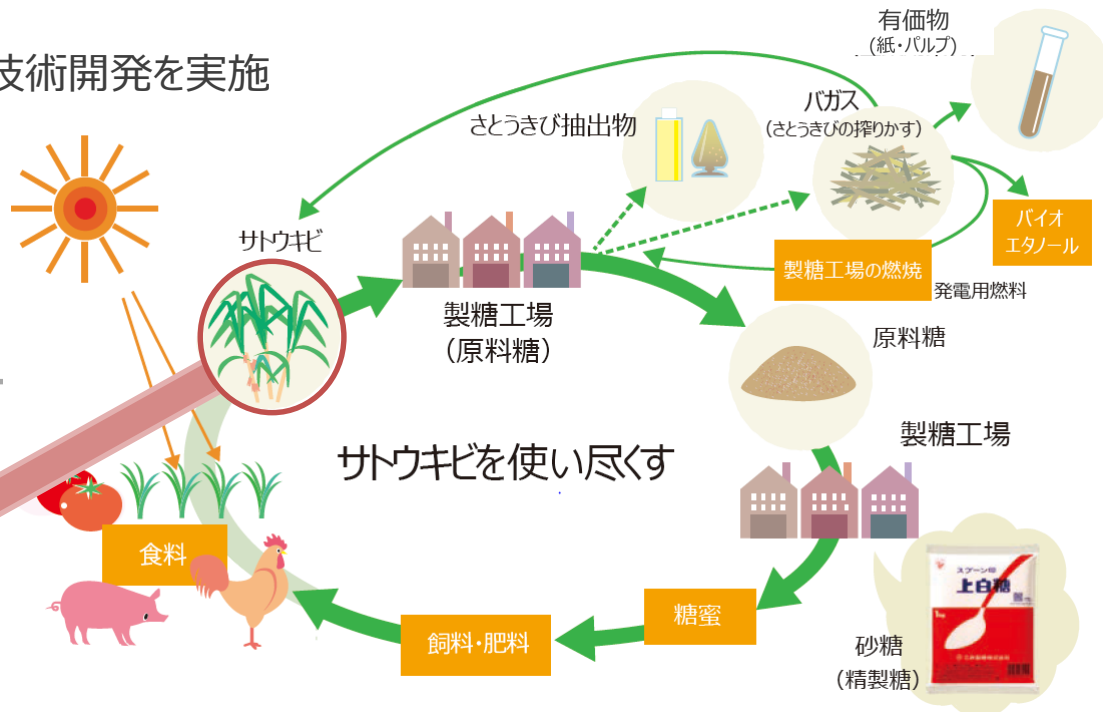
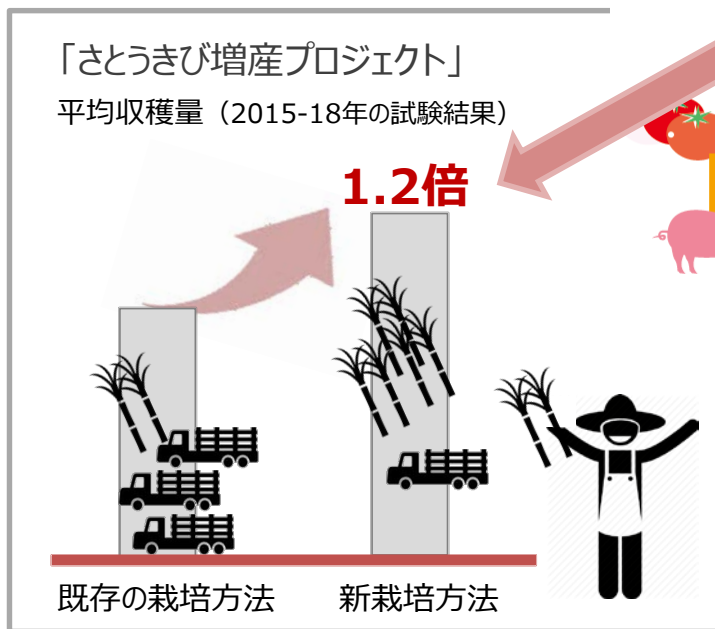
●トータルサニテーション

3. 持続可能な発展に向けての取組

SDGs

自然の恵みを享受する企業として、生産地とともに成長を目指す

2013年から、サトウキビの栽培改善技術開発を実施



将来的に現在の株出回数1回を3回に増加させることが目標。
※株出とは収穫後の苗から新たに出る茎を利用する省力的な栽培方法

3. 持続可能な発展に向けての取組



◆「つぼみの会」を通じた取組

1型糖尿病の子供たちと家族で構成された「つぼみの会」を通じ、糖尿病患者の健康や食への楽しみに貢献できるよう支援

◆食を通した自立の支援

- 「神戸スイーツコンソーシアム」
(チャレンジド(障がい者)の職業的自立支援)
- 「全国小学生パティシエ選手権」

◆社会貢献型株主優待制度の導入

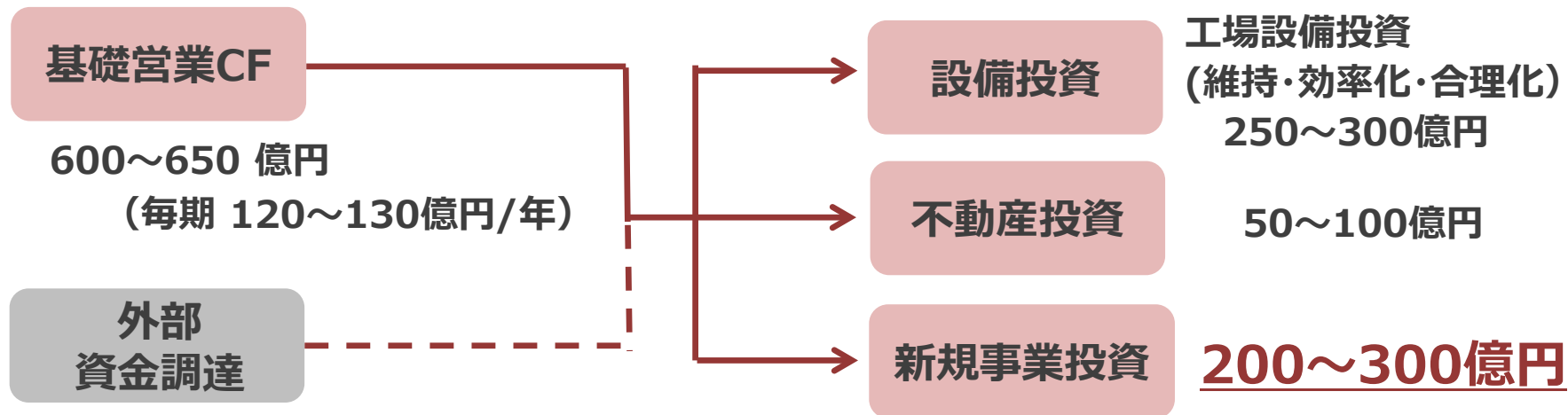
「つぼみの会」が加盟している認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク(1型糖尿病患者・家族の支援、根絶のための研究活動支援)を寄付金贈呈先として選定

◆食育活動

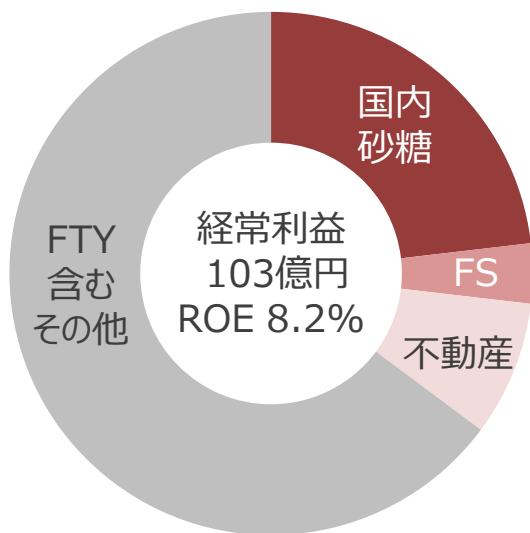
「和食と砂糖」をテーマに生徒・児童に向けた食育授業を継続的に実施し、砂糖の魅力を発信

Ⅲ. 財務戦略と株主還元

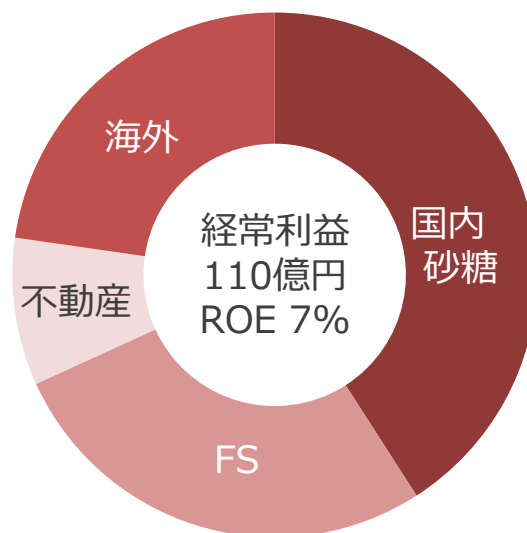
1. 資金配分計画(今後5年間)



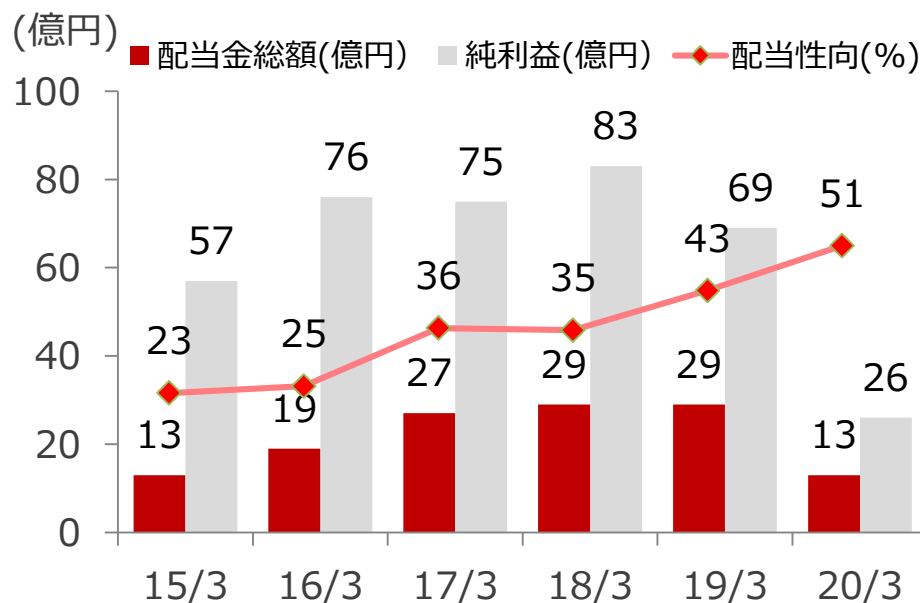
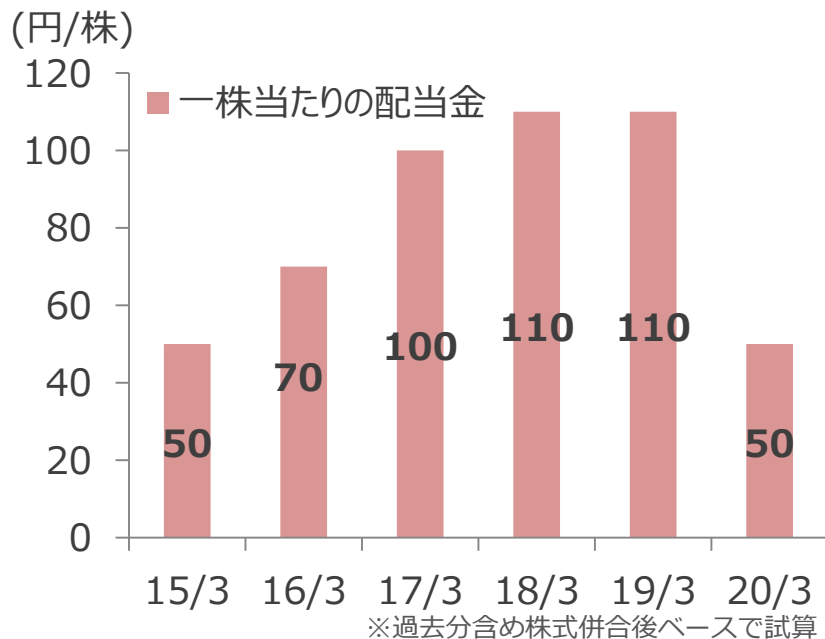
2019/3月期



2023/3月期



2. 株主還元方針



- ◆19/3月期の配当方針は、従来の方針を踏襲し一株当たりの配当額を維持
- ◆20/3月期は、30億円を上限とした自己株式取得に加え、連結配当性向35% + スプーン印60周年の記念配当を予定
- ◆21/3月期以降は、配当含め株主還元方針を変更
→ 総還元性向50%へ
- ◆配当と自己株式取得のバランスについては、その都度、状況の変化に応じて機動的に対応

連結ROE推移

19/3期	:	8.2%
20/3期予想	:	3.6%
23/3期予想	:	7.0%

今年は、スプーン印誕生から60周年

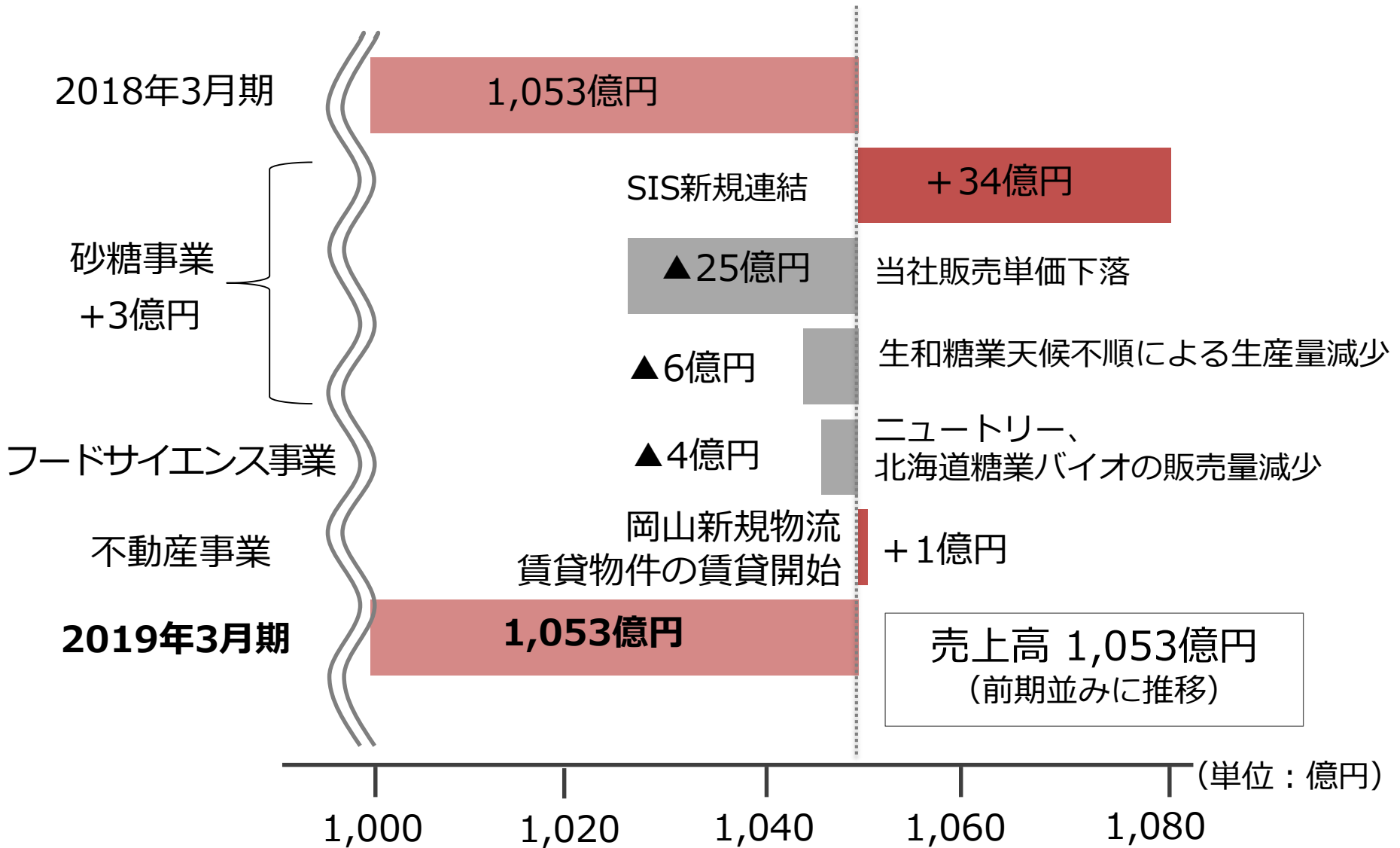


三井製糖は、これからも
変わらないために変わり続けます。

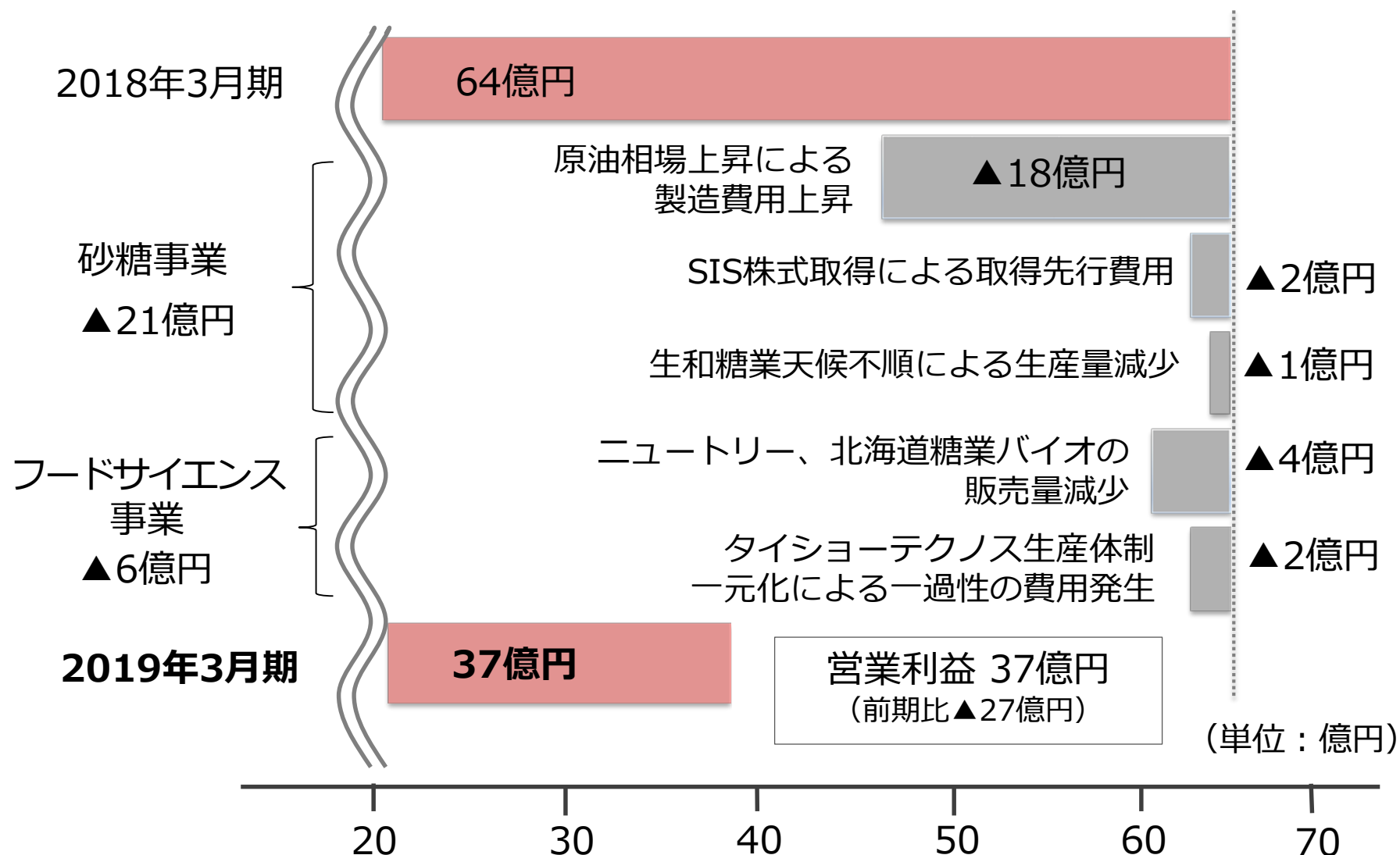


参考資料

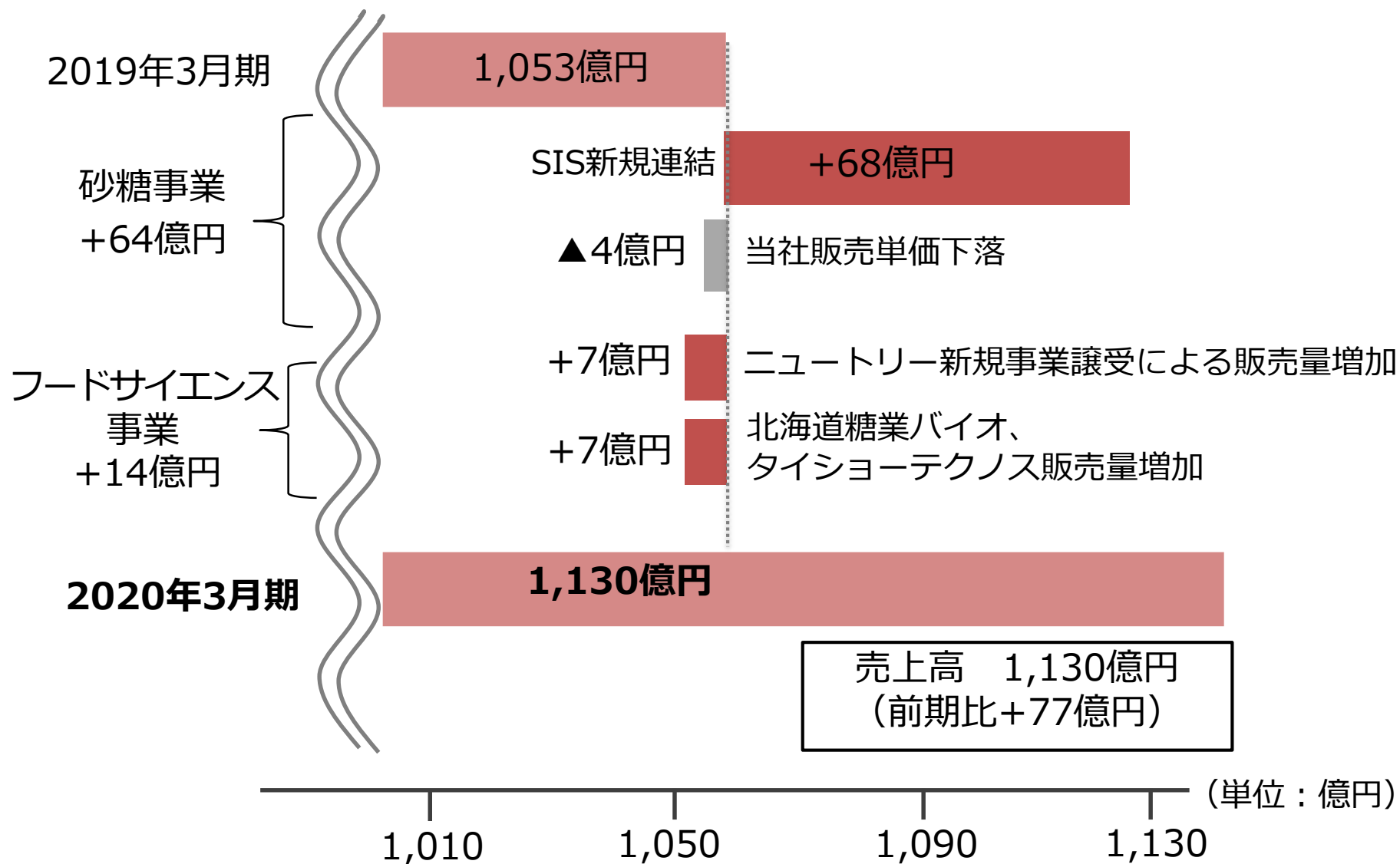
2019年3月期 決算 売上高増減（対前期比）



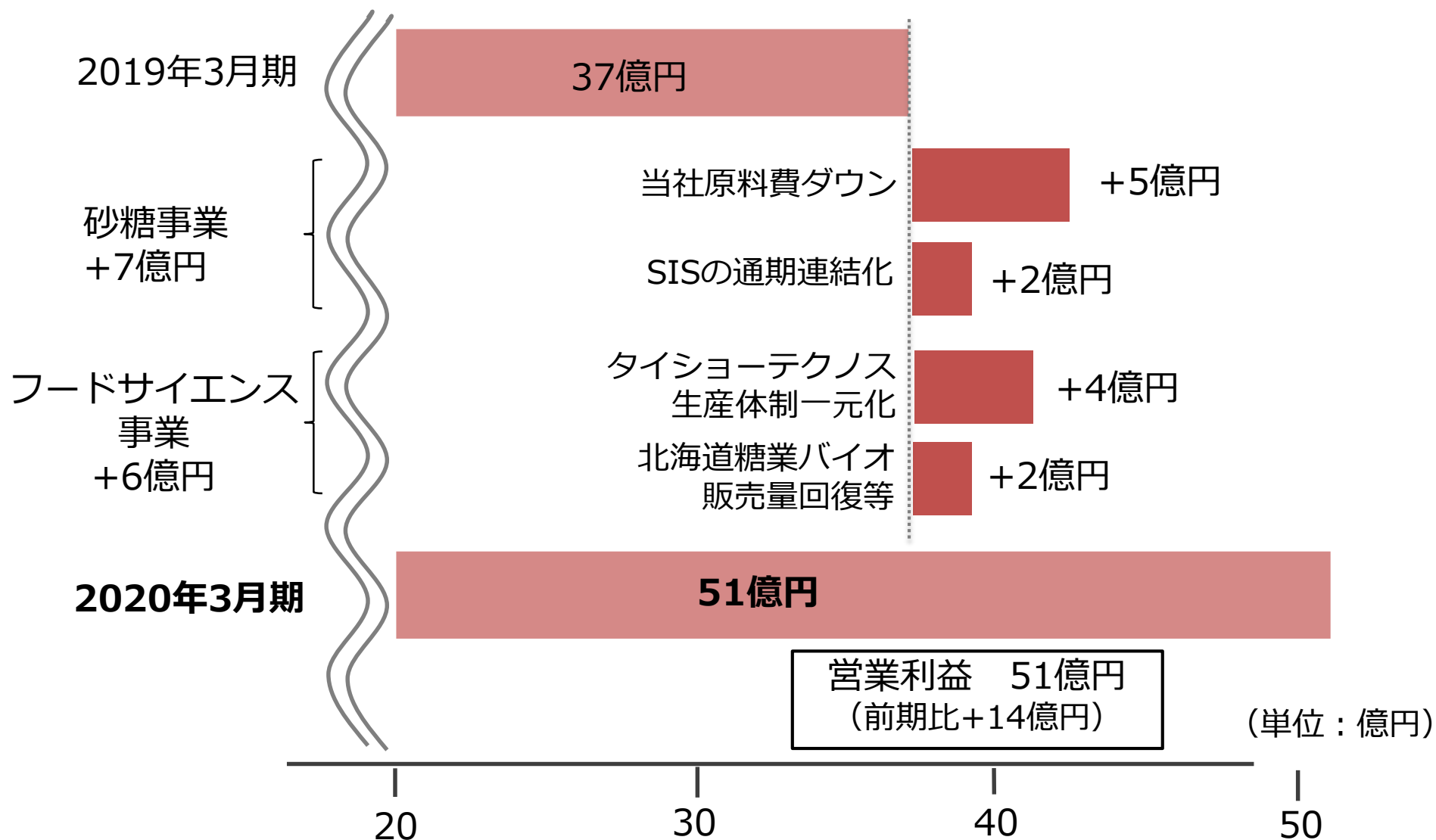
2019年3月期 決算 営業利益増減（対前期比）



2020年3月期 事業計画 売上高増減

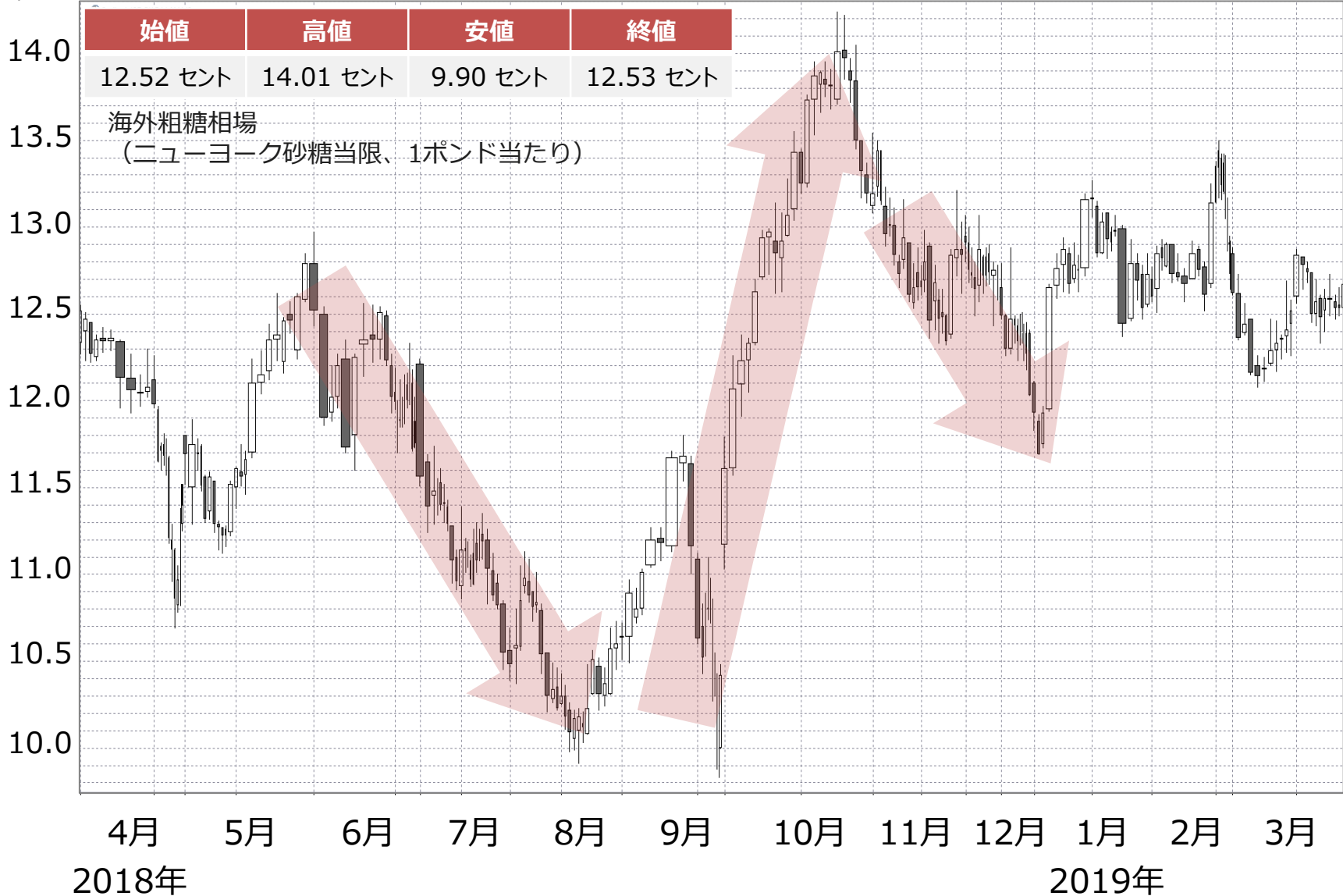


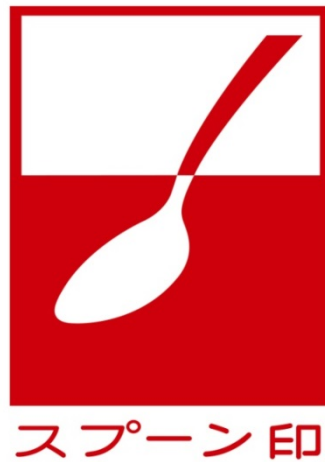
2020年3月期 事業計画 営業利益増減



海外粗糖相場（¢ / ポンド）

¢ / £





本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。